

平成24年度学内教育GPプログラム事業経費 成果報告書

区分	継続型
事業名称	出る杭を育てる：タイアップ・キャリアセミナー
取組代表者名 担当者名	取組代表者 三浦 徹（文教育学部） 担当者 最上 善廣（理学部） 永瀬 伸子（生活科学部）

1. 成果の概要

実施した事業の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、当初設定した目的・目標に照らし、3ページ以内で、できるだけ分かりやすく記述すること。必要に応じ、図表を用いても構いません。

本事業は、学生支援GP「出る杭を育てる：企業で女性が輝くための学生支援」（20-23年度）において実施した「タイアップ・キャリアセミナー」を継続し、企業で活躍し起業する女性リーダーを育成することを目的とするものである。企画運営にあたっては、同セミナーによって結成された「お茶大ビジネス・フォーラム（略称お茶ビス）」が、（株）コラボラボ（横田響子社長）の協力をえて、自主的に企画・運営にあたる。これによって、就活経験の伝授など、学生同士のサイクルをつくることを特徴としている。

24年度の実施内容は以下のとおりである。

①お茶大生講師による「よくわかるマーケティング講座」

日時：6/20, 27, 7/4, 18 16:40-18:10 （18日はプラン発表会）

場所：附属図書館 1階キャリアカフェ

講師：お茶大ビジネス・フォーラム（略称お茶ビス、寺田知賀子生活科学部4年ほか計5名）

参加学生 定員：文教育、生活科学、理学部学生 15名（4チームを編成）

②キャリア・セミナー（通算第4回）

日時：9月29日（土）

場所：お茶大（本館306室）

内容：午前10-12時 セミナー「子持ちキャリア女性による本音トーク」 主婦と生活社河森佑子さん（お茶大卒）、リクルート社根来安津子さん（お茶大院卒）、司会：コラボラボ社長横田響子さん（お茶大卒）

13-16時 ビジネス・プラン発表会

「SWEET GIFT」「男肌 DAN SKIN」「ジョグパパ」「きみプラ」の4つのプランを発表、特別審査員・会場審査員の評点により、「きみプラ（君恋プランナー）」がグランプリを獲得。忙しくて恋の下手な男子に、TPOにあったデートプランを設計、新鮮で笑顔の関係をつくるというWinWinプランであった。

審査者：横田響子社長+坪田秀子学長特任補佐+佐々木栄・出る杭をそだてる前講師+松

本香奈子（お茶ビズ初代会長、三井住友銀行勤務）＋学生聴衆

運営： お茶ビズ

セミナーの様子は、大学ウェブページに報告を掲載した。

[http://www.ocha.ac.jp/news/h241012\\_2.html](http://www.ocha.ac.jp/news/h241012_2.html)

### ③ 「学生ビジネスプランコンテスト」(学生サポートセンター) 応募

4本のビジネス・プランを、横田響子氏の指導をえて、応募書類にまとめて応募した。残念ながら、いずれも落選し、入賞を果たすことはできなかったが、学生にとっては、ビジネス・プランという書類作成の学習の機会となった。

### 成果

ビジネス・プランを考えたこともなかった受講者が、4回のマーケティング講座とお茶ビズメンバーによる指導によって、女子大生らしい発想のもとに、収支計画を含むプランを練り上げたことから、学生の満足度や達成度の高さを測ることができる。また、24年度の実験から、第3期お茶ビズが結成され、25年度の企画・運営にあたっており、学生のサイクルづくりは順調に進んでいる。

## 2. 今後の取組み継続に係る実施体制及び資金確保の状況について

本経費は、学外の競争的資金等によるプロジェクトで、プロジェクト実施期間終了後も引き続き取組みを継続するための体制を整備するために配分されたものです。本経費の支援期間終了後の実施体制及び資金確保の状況について記述してください。

本経費による支援期間が終了するまでに、学生団体お茶ビズの組織を強化し、本事業運営のノウハウを蓄積し、支援終了後は、実費程度（セミナーの配布資料、講師代）で、継続できる体制にもっていきたい。他方、現時点では三浦がボランティアで事業を切り盛りしているが、今後運営担当の教員を確保するためには、支援終了後は、学生・キャリア支援センターの事業として、位置づける必要がある。